

実験運行 OD 調査追加分析

前回協議会時点で不足していた、実験運行の OD(利用者の動き)調査についての報告を行う。詳細は本日資料②「中城村生活交通ネットワーク計画策定に向けての調査報告書(案)」内 22～29 頁に記載する。

①OD 集計方法

- ・小中学生を除く常時便(マイクロバス)利用者の集計
- ・乗車バス停及び降車バス停のどちらかが不明の場合は集計対象外とした
- ・吉の浦会館での乗り継ぎ利用者については、乗車バス停を基準に集計

②全体の動き

- ・路線内での動きが多く、乗り継ぎは約 1 割程度であった。
- ・平日と休日を比較すると、平日はハートライフ普天間線での動きが多く、休日は第二久場琉大病院線の動きが多くみられた。
- ・平坦地区と台地地区を往来する動きが全体の約 6 割程度で、平坦地区内や台地地区内での動きよりも多くみられた。
- ・平日は普天間りうぼうを中心とした動きが多かった一方で、休日は比較的分散した動きがみられた。
- ・また、休日では乗降バス停が一致する動きが多くみられ、試乗での利用が多かったと考えられる。

表 全体の動き

	平日(9日間) 資料③23頁参照		休日(5日間) 資料③24頁参照	
ハートライフ普天間線	272人		182人	
第二久場琉大病院線	227人		313人	
乗り継ぎ	73人		68人	
合計	572人		563人	
平坦地区内の移動	136人		160人	
台地地区内の移動	86人		78人	
平坦⇄台地地区間の移動	351人		325人	
利用の多い区間	奥間 ⇒普天間りうぼう	52人	吉の浦会館 ⇒吉の浦会館	30人
	普天間りうぼう ⇒奥間	30人	吉の浦会館 ⇒サンエー前	18人
	普天間りうぼう ⇒サンヒルズタウン	23人	サンヒルズタウン ⇒サンヒルズタウン	16人

③路線別の動き

I. ハートライフ普天間線

- 平日、休日ともに「普天間りうぼう」を中心とした往來の動きが多くみられた。
- 休日では平日と比較すると、「普天間りうぼう」だけでなく、分散した動きがみられた。
- 平地地区内、台地地区内での動きは少なく、目立った動きはみられなかった。

表 ハートライフ普天間線内での利用の多い区間（資料②25 頁参照）

平日		休日	
奥間⇒普天間りうぼう	52 人	サンヒルズタウン⇒サンヒルズタウン	16 人
普天間りうぼう⇒奥間	30 人	吉の浦会館⇒吉の浦会館	14 人
普天間りうぼう⇒サンヒルズタウン	23 人	サンヒルズタウン⇒普天間りうぼう	11 人
和宇慶⇒普天間りうぼう	21 人	奥間⇒普天間りうぼう	9 人
伊集⇒普天間りうぼう	20 人	津覇⇒登又、登又⇒津覇、普天間りうぼう⇒奥間	8 人

II. 第二久場琉大病院線

- 「サンエー前」を中心とした動きが多く、特に休日では顕著にみられた。
- 台地地区から、平坦地区の公共施設が立地する「添石」、「当間」、「吉の浦会館」への動きも比較的多くみられた。

表 第二久場琉大病院線内での利用の多い区間（資料②27 頁参照）

平日		休日	
吉の浦会館⇒サンエー前	15 人	吉の浦会館⇒サンエー前	18 人
南上原⇒添石	12 人	吉の浦会館⇒吉の浦会館	16 人
吉の浦会館⇒吉の浦会館	12 人	南上原⇒添石	12 人
伊舎堂⇒当間、当間⇒サンエー前	9 人	伊舎堂⇒当間、当間⇒サンエー前、吉の浦会館⇒ひが皮膚科クリニック前、吉の浦会館⇒南上原、サンエー前⇒当間	9 人

④乗り継ぎの動き

- 平日と休日で大きな差はみられなかった。
- 乗り継ぎにおいても「普天間りうぼう」を中心とした動きが多くみられ、また「サンエー前」や「ハートライフ病院」への動きも比較的多くみられた。

表 乗り継ぎでの利用の多い区間（資料②29 頁参照）

全日	
ひが皮膚科クリニック前⇒普天間りうぼう	12 人
ハートライフ病院⇒サンエー前 普天間りうぼう⇒琉大附属病院前 サンエー前⇒ハートライフ病院前	8 人
サンエー前⇒普天間りうぼう	7 人